

環境教育合同研究大会 2019 案内 (第2報)

今回の研究大会は四人のゲストから特色のある地域づくりのお話を伺い、その後の分科会で、テーマ別の議論をゲストと共にすることにより参加者それぞれが意見を出し合い、新たな環境教育の可能性を考える場となるようにプログラムを企画しました。そのため分科会での議論を大切に、参加者個人個人が自己の価値観と向き合ってもらえたら幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

○開催日：2019年12月21日(土) 9:30 開場・受付開始

○時間：10:00～17:00 (大会後に懇親会を予定)。

○開催地：奈良教育大学 [〒630-8528 奈良市高畑町]

○アクセス：近鉄奈良駅・JR奈良駅より市内循環バスで10～20分「高畑町(奈良教育大学)バス停」下車徒歩5分。観光シーズンのため、道路が混雑する恐れがあります。ご注意ください。

○テーマ：「環境教育がもつ可能性～人・地域を未来につなぐ～」

○参加費：一般・大学院生 2,000 円、大学生(学部生) 500 円、高校生以下無料

○懇親会費：4,000 円(予定)

○主催：関西環境教育学会・一般社団法人日本環境教育学会関西支部

○お問い合わせ・申し込み先：合同研究大会実行委員会事務局

※午後のシンポジウムのみご参加の場合は、会員でなくても資料代として500円(学生無料)でご参加いただけます(参加予約不要)。

※懇親会に参加ご希望の方は12月14日(土)までに実行委員会事務局にご連絡ください。

○お申し込み・お問い合わせ先：合同研究大会実行委員会事務局

FAX. 078-431-1022 E-mail: ee.kansai@gmail.com

合同研究大会ホームページ http://www.ee-kansai.com/joint_am/

主 催

関西環境教育学会・一般社団法人日本環境教育学会関西支部

○プログラム

9:30 受付開始

10:00~12:00 研究発表

12:00~13:00 ポスターセッション

13:00 開会あいさつ

13:15 シンポジウム「環境教育がもつ可能性～人・地域を未来につなぐ～」

①岡見厚志氏（World Seed 代表）

タイトル「学生でつながる地域の団体」

キーワード：「学生」「ボランティア」「高齢化」「中間支援」

②杉山拓次氏（春日山原始林を未来へつなぐ会事務局長）

タイトル「『わたし』からはじまる『環境教育』のイメージーション
～わたしが語る『春日山原始林』からみえるもの」

キーワード：「表現者」「現場」「知った責任」「共感→自分ごと化」

③高田健二氏（海士町役場/JICA グローカル・コーディネーター）

タイトル「意志ある未来にむけて～隠岐相撲の精神から学ぶ～」

キーワード：「バックキャストिंग」、「三方よし」、

「持続可能な地域づくり」、「伝承効率を高める」、「隠岐相撲」

④松田^{わたる}度氏（奈良県大淀町教育委員会学芸員）

タイトル「次代へつなぐ地域遺産」

キーワード：「地域」、「遺産」、「住民」

14:55 シンポジウム後半の分科会進行について説明

15:00 休憩・移動

15:15 シンポジウム＜後半＞（分科会）

分科会（1）団体をつなぐ・分野をつなぐ

（シンポジスト：岡見厚志氏・杉山拓次氏 ファシリテーター：木内 功、
竹村景生）

分科会（2）文化遺産で地域と未来をつなぐ

（シンポジスト：松田度氏 ファシリテーター：本庄 眞、天野雅夫）

分科会（3）価値観・教育を通じて人をつなぐ

（シンポジスト：高田健二氏 ファシリテーター：松田 聡、石渡正志）

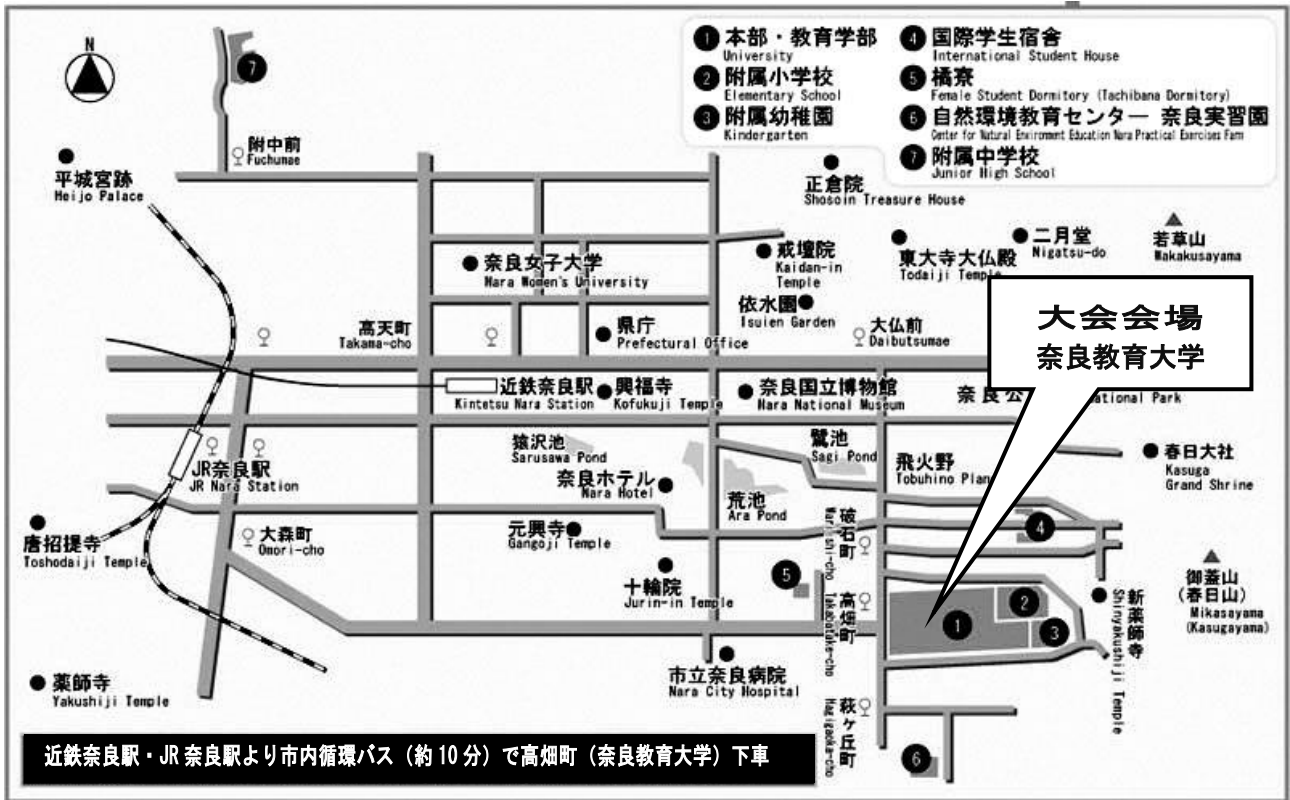
16:15 分科会終了、休憩・移動

16:20 分科会報告

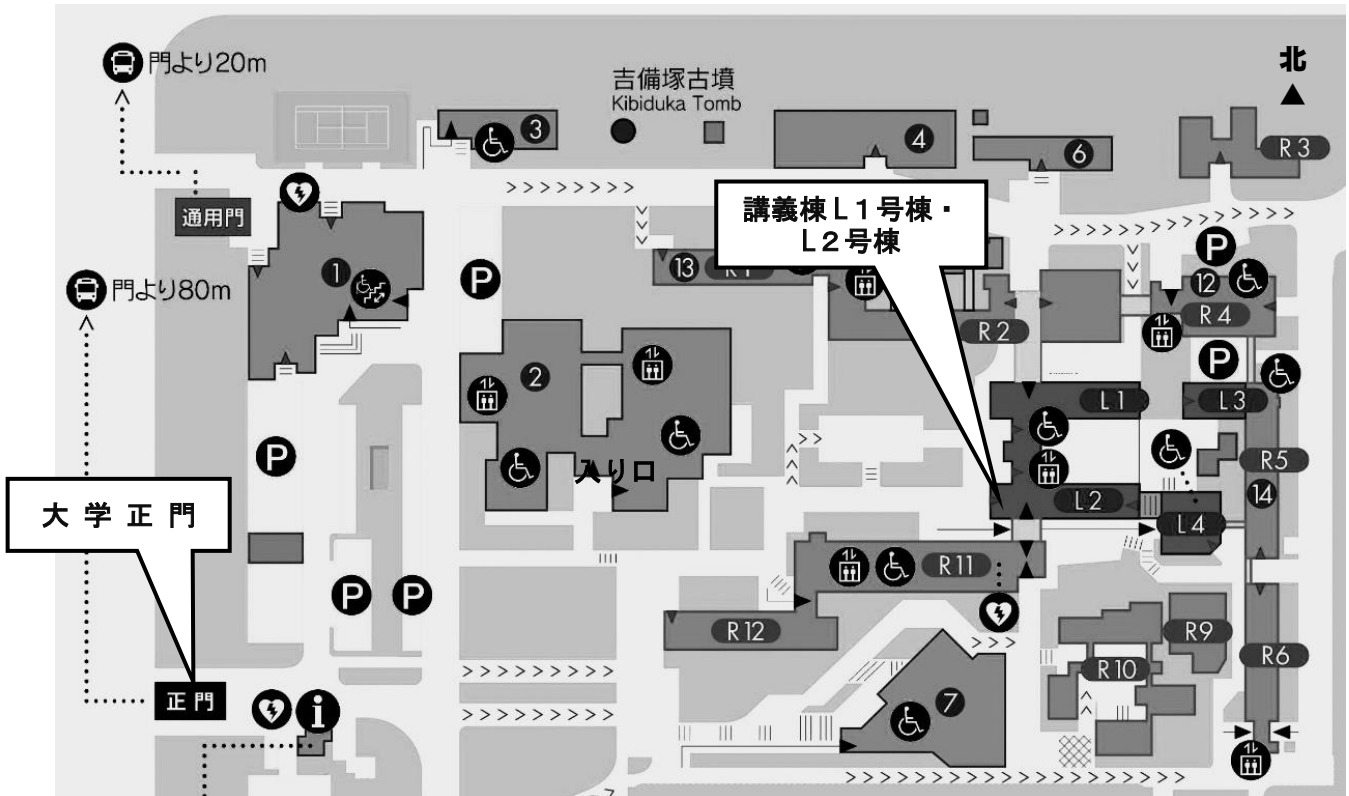
17:00 閉会あいさつ

17:30～ 懇親会

○研究大会会場案内（奈良教育大学）

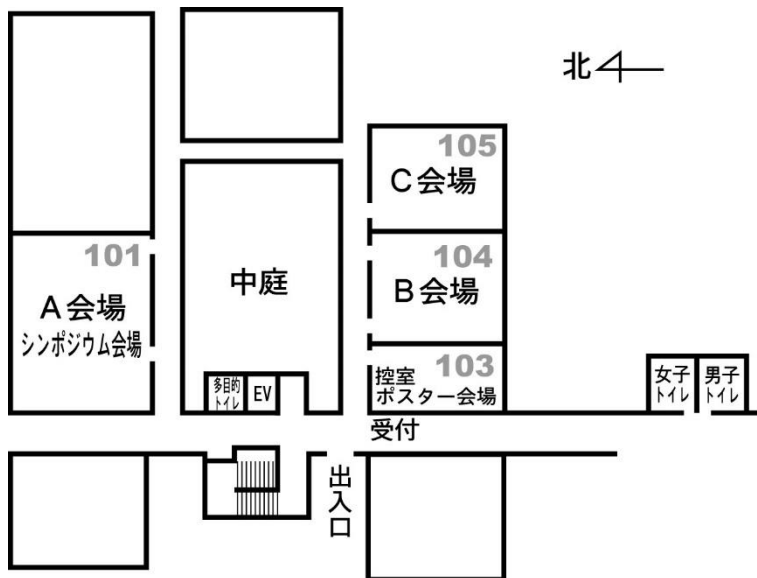


○キャンパスマップ

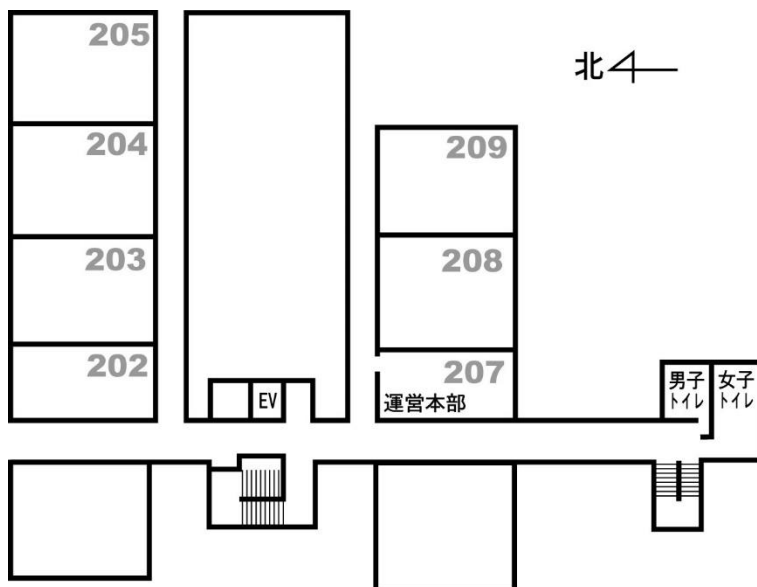


○会場レイアウト

*受付		講義棟 L1号棟・L2号棟 1階
*シンポジウム会場		101 教室
*研究発表	A会場	101 教室
	B会場	104 教室
	C会場	105 教室
*参加者控室		103 教室
*ポスター発表会場		103 教室
*運営本部		207 教室



講義棟 L1号棟・L2号棟<1階>



講義棟 L1号棟・L2号棟<2階>

○研究発表プログラム

◇口頭発表

A会場（環境教育・SDGs・ESD）

	発表時間	発表者：題目	座長
A 1	10:00～10:30	○新玉拓也（魚と子どものネットワーク）・谷口倫太郎（岡山理科大学・魚と子どものネットワーク）「環境教育の担い手は誰か～三重県亀山市の実践より～」	辻野
A 2	10:30～11:00	○前田良治、中村尚弘（株式会社チクマ）「ある繊維会社のSDGsへの対応（目標12. つくる責任 つかう責任）—事業活動を通してSDGsを考える—」	
A 3	11:00～11:30	瀬口和矩（b i o a）「次世代に引き継ぐESD・環境教育の推進」	石渡
A 4	11:30～12:00	○松重摩耶 上月康則（徳島大学環境防災研究センター）「SDGsを自分事にするタイムラインの活用法について」	

B会場（里山・地域の自然）

	発表時間	発表者：題目	座長
B 1	10:00～10:30	竹村景生（奈良教育大学附属中学校）「ここにしかない もう一つの学び場を求めて」	天野
B 2	10:30～11:00	○松本朱実①④・平井研②④・大滝真緒③④・臼井達也③④（①動物教材研究所 pocket・近畿大学研究員、②NPO 法人 人と自然とまちづくりと、③NPO 法人 わかやま環境ネットワーク、④わかやま生き物クラブ）「市民科学の芽を育む『わかやま生き物クラブ』の活動—地域の自然を『みる・しらべる・つながる』—」	
B 3	11:00～11:30	梅田真樹（大谷大学）「公園の樹木を用いた環境教育の授業実践」	松本朱
B 4	11:30～12:00	○橋将俊、淵上葵、北川伸太郎（同志社大学経済学部岸ゼミナール3年生）「同志社大学経済学部里山きゃんぱすにおける環境教育」	

C会場（原発・安全文化教育・環境教育史・ジェンダー）

	発表時間	発表者：題目	座長
C 1	10:00～10:30	福島古（G E C）「安全文化教育の展開とその諸問題（5）—ストックホルム宣言の『原則19』達成のために—」	植田
C 2	10:30～11:00	東照晃（大阪府立信太高等学校）「環境学習におけるジェンダー差～エコフェミニズムからの分析～」	
C 3	11:00～11:30	新田和宏（近畿大学）「1990年代における自然体験学習の『勝利』と経路依存性—日本環境教育史研究Ⅱ—」	福島
C 4	11:30～12:00	○浜 泰一（東京大学空間情報科学研究センター）、楠美 順理（中京大学）「実業系専門学校における原発の必要性の検討—『はじめての原発ガイドブック』の活用—」	

◇ポスター発表

- 1) 劉 宇（東海大学人間環境科）「中国の光化学スモッグに対する防止と改善に関する研究～法律対策面について検討～」
- 2) ○石井巧（京都府立桂高等学校）・秋吉博之（和歌山信愛大学教育学部）「事実を科学的に説明する能力を高める指導法—特定外来生物をテーマとして—」
- 3) たなかよしゆき（竹の杜茶論）、笹野義一（地域づくり支援機構）、矢野学（笑郷まほろばの会）、○安堂和佳子（笑郷まほろばの会）「屯鶴峯周辺での『持続可能なまち』づくりのための活動」
- 4) ○津野佑規（新潟大学大学院自然科学研究科）長谷川英夫（新潟大学自然科学系）笠松亮介・佐名木琉空・高原正陽・南部空雅・村中翔・森光佑斗・山崎盾輝・山澤郁仁（福井県立福井農林高等学校）「福井農林高校 SDGs 宣言」
- 5) ○橘将俊、渊上葵、北川伸太郎（同志社大学経済学部岸ゼミナール3年生）「同志社大学経済学部里山きゃんぱすにおける取り組み」
- 6) ○藤崎亜由子（兵庫教育大学）、飯島貴子（奈良女子大学附属幼稚園）、島内 武（元大阪成蹊短期大学）、麻生 武（奈良女子大学）、亀山秀郎（認定こども園七松幼稚園）、藤崎憲治（京都大学名誉教授）「幼児と身近な自然との出会いを創出する保育教材研究：園庭のむしあそび図鑑の開発」

*発表時間は20分、質疑応答10分になります。呼び鈴は、17分経過（1鈴：口頭発表終了予告）、20分経過（2鈴：発表終了、質疑応答の開始）、30分経過（3鈴 [発表終了]）になります。

*発表者は自分の発表開始の少なくとも30分前までに会場にお入りください。

*パワーポイントを使用する場合は、データファイル（.ppt もしくは .pptx ファイル）をCD-RかUSBメモリに入れてお持ちください。会場に設営されたPCはWindowsです。別途配布資料がありましたら、各自で20部程度を印刷の上お持ちください。